

〔国際会議開催〕

申請者	石川工業高等専門学校 電子情報工学科 准教授 松本 剛史	2045017
国際会議名称	アジア南太平洋設計自動化会議 2015	
開催期間	2015年1月19日～1月22日	
開催場所	幕張メッセ（千葉県千葉市）	
申請者の役割	財務委員長	

概要：

アジア南太平洋設計自動化会議（ASP-DAC）は、電子システムの一要素である LSI の物理設計、論理・機能設計、テストから、電子システムの仕様記述や設計方法論に至るまで、電子システムに関連する種々の技術分野を網羅した国際会議です。本会議では、設計自動化技術そのものに加えて、最先端の設計自動化技術を適用して開発された LSI・電子システム・情報通信システムの設計開発事例も含めて、半導体分野の最新の技術動向を議論・共有することを目的としています。

会議は全4日間の日程で開催され、19ヶ国からの外国人198名を含めて、433名が参加し、大変盛況のうちに開催されました。初日には6件のチュートリアルが行われ、各分野の第一人者がシステムレベルからデバイスレベルまで、基礎から現場で役立つ実践まで最新技術を講義しました。2日目以降は主に講演で構成される全36セッションが実施されました。基調講演では、ボッシュ株式会社取締役副社長（技術統括担当）の Udo Wolz 氏、NTT 未来ねっと研究所所長の高原厚氏、国立情報学研究所の新井 紀子教授に設計および設計技術の最新動向についてご講演いただきました。セッションは、一般講演が26セッション、招待講演が5セッション、Designers' Forum が4セッション、デザイン・コンテストが1セッションの全36のセッションで構成されました。318件の一般投稿論文から106件が採択（採択率33.3%）され、一般講演セッションでは質の高い最新の研究成果が多数発表され、海外研究者を交えて、非常に活発な技術的・人的交流がなされました。